

西小倉めぐみ教会通信

発行者
日本キリスト教団
西小倉めぐみ教会

〒611-0042

京都府宇治市小倉町西浦33-36

TEL&FAX 0774-20-3071

http://www.n-megumi.com/

癌も個性として、恵みとして

牧師 棚谷直巳

私はこれまで、体に大きな病をしたことはなかったのですが、今年8月に虫垂癌(※)が見つかりました。そののち、京都大学付属病院に転院して体全体を検査していったところ、癌は腹膜に転移しており、大腸と小腸の一部のリンパ節にも癌があることが判り、「ステージは4」と診断されました。

その検査の夜、病院の消灯時間となつてから、身に覚えのない不安が心を襲いました。私はふと、マルコによる福音書のゲッセマネの祈りの箇所(マルコ14:32~42)を読みました。「死ぬばかりに悲しい」「肉体は弱い」…といった、イエス様の言葉が、私の気持ちを代弁してくださっているように思えて、それはとても心にしみました。イエス・キリストは、どこまでも人間の病と苦悶の傍に居て下さる救い主であることを、あらためて知りました。

癌を患った多くの方が鬱病を発症しやすいという話を聞いて、それはそうであろうな、と感じます。「癌はもはや治る病気」とまで云う、今日の医療技術の発展には驚き入りますが、そ

れでも、癌患者は常々に「死」をイメージさせられます。私も癌宣告を受けた時は、いきなり目の前が「病一色の白カーテン」で遮られたようになり、行く先々すべてが病室であるかのような錯覚を起こしました。宣告を受けた夜に、私はつれ合いの李清美さんに「最期まで介護が出来なくてごめん」と泣きながらいました。彼女は車椅子生活をしていて、強直性脊椎炎(※)とアーノルドキアリ(※)の二つの難病をもち、これまで大手術を何度も経験していました。その私の弱気な言葉を聞くなり「(治療を)諦めてるやないか！」と彼女は一喝しました。するとそれで、私の「白カーテン」はすっと消え、日常の感覚を取り戻すことができました。それだけでなく、西小倉めぐみ教会の信徒さんには「癌の先輩」が居て、笑顔で「癌のことならば何でも聞いてくださいよ」と声かけ下さいました。他の信徒さんも、妙に同情的になるのではなく普段通りに接してくれています。また、「抗癌剤治療(※)をしながら山登りもしてる」等のご友人や親族の例をあげて、食事など具体的なアドバイスもくださいます。こうして、自分が癌に対して持っていた暗いだけのイメージは払拭され、「普段の生活そのままを大切にすることが、治療にもいちばん大切である」ことを学びました。癌を自覚しつつも「自分で工夫をして生きること」を優先させるために、「癌は病であるとともに障害であり、個性である」と考えると、受けとめやす



かったです。「病を知っている側から来る救い」(イザヤ53:1~12)を実感いたしました。

私の入院中は京都南部地区の南山城伝道協議会が講壇支援をくださいました。感謝でした。また、教会信徒の皆さんも交代で証にたち礼拝を守りました。信徒のほとんどが障害と病を抱える西小倉めぐみ教会の「弱いときこそ強い」姿を、また教えられました。このようにして、病を得ることも、確かに人と人とが心でつながることでした。イエス・キリストも復活の奇跡から、互いの愛によって、人は死の出来事も乗り越えて永遠の命へとつながる、とそのことを示してくださっていました(ヨハネ11:1~44)。

私は今はできるだけ普通の生活を心がけ、日曜日は宣教に立たせていただき、教会に集う方々と日々の交わりをいただいています。癌を得たこともまた恵みであると感じます。これからは、癌患者でもある牧師として、宣教の課題を担わせていただきたいと願っています。感謝です。

※虫垂癌…虫垂にできる希少な癌。

※強直性脊椎炎…体の全体の関節が骨化してゆく病

※アーノルドキアリ…小脳が伸びて骨髄に落ち込んでゆく病

※抗癌剤治療…強い薬・点滴で癌の進行を抑えたり縮める治療で、一般に副作用が強い。

西小倉めぐみ教会 この1年のあゆみ

クリスマス・キャンドルライトサービス 「いのちの輝き〜つなぐ〜」 2018年12月23日夜



例年のこの催し、今回は地域の方々と一緒に手作りで心と心を「つなぐ」ことをキーワードに催しました。棚谷牧師によるクリスマスメッセージは、「ハーヤンハンメ(白いおばあちゃん)」と題した紙芝居。紙芝居の絵は「ほっとハウス」臨床美術教室の皆さんに制作いただきました。壁には同じく臨床美術教室の皆さんによる力作のアドベントカレンダー。その他、教会員による歌、演奏、詩の朗読、地域コーラスグループ「歌ごえ」によるクリスマスメドレーなど、暖かく心をつないだクリスマスの夜となりました。

今年も12月22日の夜の開催に向け準備を進めています。この紙面が皆様の手元に届く頃には、進行中のことと思います。

今年も12月22日の夜の開催に向け準備を進めています。この紙面が皆様の手元に届く頃には、進行中のことと思います。



新春の集い〜本田哲郎さんを囲んで〜「小さくされた人々の側からの福音」 2019年1月14日

この日は、カトリックの聖職者であり、大阪・釜ヶ崎で労働者に学びつつ聖書の読み直し作業をされている本田哲郎さんを招いて交流の時をもちました。

「神様はどこにいるのか」という問いに答えはないが、「私はどこにいるのか」という問いに対して「神様の中にいる。包み込み大切に守ってくださっている」との答えには新鮮な発想の転換を覚えました。神様は小さくされた者の側にいて大切にしておられ、当教会もそうであり続けたい、そんな思いを新たにしました。交流の中では、他宗教と対話、協力し合うこと、キリスト教が「宗教」の枠を取っ払っては、との言葉も。それぞれが発想の転換を促された貴重な場となりました。



「ほっとハウス」が移転しました 2019年5月1日

1992年4月、当教会の棚谷直巳現牧師が伝道師であった時に、精神障害者のいこいの場として当教会内に立ち上げた「ほっとハウス」。2000年には当教会の3軒隣の家屋に移り、2016年からは再び教会の建物も並行して使用しながら、障害者総合支援法上の生活介護・自立訓練事業所として、手狭になった施設の移転準備をしてきました。

このほど教会から数百m離れた場所に、新築3階建ての建物が竣工。新たに短期入所も始め、新たなスタートを切りました。棚谷牧師は「ほっとハウス」のことは既に後進に道を譲り、場所も離れましたが、これまで積み重ねてきた歴史を踏まえて、これからも教会としておつきあいしていきたく思います。



みんなで行こう とよりの教会 2019年7月14日

南山城伝道協議会のよびかけに呼応して、当教会では通常の礼拝をお休みにし、教会メンバーは同協議会内の教会のみならず他教派教団の教会も含め、近隣の教会の礼拝に参加しました。当教会では希望者にむけて小礼拝ももちました。今回で3年目の取り組みになります。教会によって、礼拝の形式やあとの交流の持ち方など微妙な違いはあっても根幹は共通していることや、他の教会を見ることは大切なことであるなど、後日感想を交流しました。近隣の教会の皆様、またおじゃまするかと思いますが、よろしくお願ひします。

岡嶋千宙^{ちひろ}さんを囲んで「誰のせい?わたしのせい!~性と生と聖をめぐるわたしたちの語り~」



2019年8月25日

この日は岡嶋千宙^{ちひろ}牧師(向島伝道所)を招き、礼拝では「神の声が聞きたくて」と題した宣教を、午後は表記の学習会の場をもちました。岡嶋牧師自身の性の自覚と、生きてきた歴史、ぶち当たってきた壁……、様々な経験談をお聞きしました。

近年「同性婚」「LGBTQ」がメディアでも取り上げられるようになり、人権啓発の対象にもなっていますが、この場の参加者の中にも、知らない時は当たり前前に偏見をもっていたこと、現に性の問題で悩みがあることなどが語られました。

すべての人の性は多様であること、マイノリティどうしだけで理解し合うのではなく、教会にあっても悩みを語れる場であること、その中にイエス様がおられることなど学びました。また岡嶋牧師との交流の場を引き続きもちたく思いました。

召天されました

岩城澄子さん 2019年1月28日召天(72歳)

当教会員の岩城澄子さんが、突然天に召されました。常に当教会の空気を明るくし、当教会を支える会の献金の会計も長らく務めていただきました。前年のクリスマスには病気で参加できないことを残念がっておられました。教会以外でも、過去には民生児童委員を務められたり、「いのちの電話」で活躍されたり、様々な形で社会貢献をされていました。お住まいの地域の子どもの名前を覚えて気さくに声かけをして見守っておられた岩城さん。今はきっと天から私たちを見守っていただいているものと信じたく思います。

「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援のお願い

主の御名を賛美いたします。

西小倉めぐみ教会は、1981年、多芸正之牧師により創立し、2005年から倉橋剛牧師が、2015年からは現在の棚谷直巳牧師が務めています。一貫して、社会の中で小さくされた人たち、貧しくされた人たち、障害をもつ人たち、とりわけ精神障害者の人たちの課題を共に負って生きること、平和を希求して歩むことを宣教の課題として歩んできました。

現棚谷牧師が伝道師であった1992年には精神障害者のいこいの場として「ほっとハウス」を創設。これは四半世紀を経て大きく育ち、2019年5月には近隣地に新築移転しました。

倉橋牧師就任時には、不登校・ひきこもりがちな青少年の居場所「おやすみ」や、地域の方々と歌を通じて交流する「歌ごえ」を創設し、現在もささやかながら取り組みを続けています。2014年8月には宗教法人化し、今後永く教会のはたらきを続ける基盤ができました。

同教会では、教会に集う人たち自身が精神障害者であったり、その家族に精神障害者がいる人たちが多くを占めています。弱い立場にある人たちが多く集う教会ゆえに、教会員による精一杯の献金にもおのずと限界があるところです。

そのため、牧師の謝儀に対し、京都教区宣教連帯の制度から援助を頂き、さらに全国の皆様から「西小倉めぐみ教会を支える会」に献金をいただき、併せて教会の支出の見直しを重ねてきました。これからも厳しい状況にあっても、小さく弱い群だからこそこの教会が神様から与えられた使命を果たし続け、その社会的はたらきをより広く知っていただくための発信を続けたく思います。

そのようなこの教会のはたらきと、厳しい経済的事情にどうかご理解をいただき、「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援をいただきたくお願い申し上げます。

2019年 12月

西小倉めぐみ教会を支える会 代表 山下茂雄
(かがわ子ども・子育て支援センター館長)

今までに御献金いただいた方のお名前（敬称略・順不同）2018.12.1～2019.11.30

安達太郎 市川三本松教会 今井牧夫 宇治教会 宇治教会すみれ会 大阪東十三教会
鴨東教会 大野教会 オザキルナ 交野教会 桂教会 川上信 君村千代子 京都教会
京都教区京都南部地区 錦林教会 久ヶ原教会 草津教会 光明園家族教会 越谷教会
琴浦教会 静岡草深教会 夙川東教会 頌栄教会 膳所教会 草加教会 大門義和
高の原教会 竹内富久恵 丹波新生教会 田園江田教会 田園調布教会 天満教会
同志社教会 土佐教会 西が丘教会 西千葉教会 野方町教会高橋 原宿教会 深見祥弘
ひばりが丘教会 伏見教会 俣田浩一 三友由美子 水口教会 箕面教会 宮本真希子
紫野教会 八幡ぶどうの木教会
李清美 池末勇人 岩城澄子 上島良彦 沖本三千代 倉橋 剛・容子 小曾根一枝
柴垣孔明 杉本節子 田中 晁・千栄 西本 愛 橋本 博 門戸幸子 棚谷直巳
(159件 計668,801円)

振り込み口座番号(ゆうちょ)…00970-2-79224 (加入者名 西小倉めぐみ教会を支える会)

●教会のホームページをご覧ください！！

西小倉めぐみ教会のホームページが出来ています。まだまだ内容はこれからですが、これから充実させていく予定です。教会通信を掲載しています。是非一度ご覧ください。

アドレスはwww.n-megumi.comです。

また、ひきこもりがちな若者が安心してすごせる居場所 フリースペース「おやすみ」のホームページもあります。アドレスはoyasumi.infoです。こちらの方も併せてよろしく申し上げます。